

# 小泉 由美 教授

博士(医学)

Yumi Koizumi

✉ yumi.koizumi@komatsu-u.ac.jp

## 研究 Keyword

タクティールケア、タッチケア、  
認知症ケア、フットケア、フレイル予防

### プロフィール

2013年 金沢医科大学大学院 医学研究科 博士課程 修了

2015年 金沢医科大学 看護学部 看護学科 准教授

2018年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授

### 研究分野

老年看護学、看護技術、在宅看護学

### 所属学協会

日本老年看護学会、日本看護科学学会、日本認知症ケア学会、日本糖尿病教育・看護学会、  
日本在宅ケア学会、日本看護研究学会、看護実践学会、看護理工学会、日本老年行動科学会

## 専門分野・研究分野

### 人の手が作り出す癒しの力の活用・認知症ケアと フレイル予防

「触れる」という行為は心身を癒す効果があるといわれ、「触れる」ことは人と人との絆を深め合う基本的なコミュニケーション方法でありケアの原点といえます。私は自分自身が体験してその癒しの効果に感動したタクティールケアの研究をしています。タクティールケアは手掌で相手の背中や手足を包み込むように柔らかくなでるように触れる施術です。これまでの研究でタクティールケアは、ケアを受ける人とケアを行う人双方が癒し癒されるケアであることがわかりました。そこで現在は、人の手が作り出す癒しの力を看護や介護に活かす研究に取り組んでいます。

また、ユマニチュードを基本にした認知症ケア、フレイル予防として認知症予防(コグニサイズ)、オーラルフレイル予防、体力づくりやフットケア等に関する地域活動を行っています。

## 研究内容

### 人の手が作り出す癒しの力の「みえる化」・ 認知症高齢者介護家族支援プログラムの評価

人の手が作り出す癒しの力の「みえる化」に関して、生理学的には自律神経活動、生化学的には唾液のストレスマーカーを指標とした準実験研究を進めてきました。タクティールケアは、ケアを受ける人だけでなく、ケアを行う人にも施術中の交感神経活動は低下し、副交感神経活動は増加するといったリラクゼーション効果があることを明らかにしました。さらに、タクティールケアは認知症高齢者の緩和ケアとしての有効性が報告されていることをふまえて、認知症高齢者の家族介護者の介護技術として普及したいと考え「認知症高齢者介護家族支援プログラム」の開発に取り組みました。介入研究を行いながら家族介護者の要望を取り入れ、タクティールケアを基盤に手技を簡便化した「なでるケア」を考案し、支援プログラムを作成しました。「なでるケア」の有効性についても検証を行い、ケア中の交感神経活動の低下と副交感神経活動の活性化、ケア後の唾液オキシトシン量の増加や唾液の酸化度の低下等、リラクゼーション効果が得られていることを確認しました。現在、認知症高齢者介護家族支援プログラムの実行可能性を検証し、認知症高齢者介護家族支援プログラムの有効性を評価する研究を進めています。

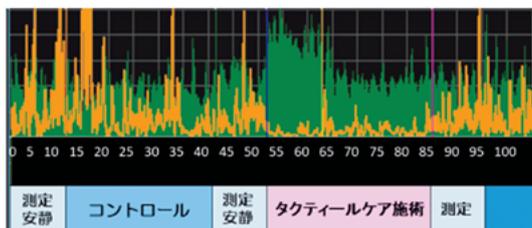


図:みえる化の一例  
タクティールケア中の  
施術者の自律神経活動

緑:副交感神経活動(CCVHF)  
黄:交感神経活動(LF/HF)



人の手の力と  
人との絆をケアに

## シーズ・地域連携テーマ例

- 看護および介護の現場におけるタクティールケア・なでるケアの普及
- 認知症ケア
- フレイル予防 (認知症予防・オーラルフレイル予防等)

## 論文

- 小泉由美他: タッチケア施術者のリラクゼーション効果の生理学的・生化学的・心理的検証, 看護理工学会誌, 4 (1), 27-38, 2017
- 小泉由美他: 地域の高齢者ボランティアを導入した高齢者のヘルスアセスメント演習の評価, 看護実践学会誌, 26 (1), 82-92, 2014
- Association between blood pressure and disability-free survival among community-dwelling elderly patients receiving antihypertensive treatment, Iritani O, Koizumi Y, et al., Hypertension Research, 37, 772-778, 2014
- Association between hypertension status and the screening test for frailty in elderly community-dwelling Japanese, Koizumi Y et al., Hypertension Research, 36, 639-644, 2013
- 小泉由美他: タクティールケア実践記録からみる効果の内容分析, 日本看護研究学会雑誌, 35 (4), 91-99, 2012

## 講演・口頭発表等

- 認知症当事者とその家族が癒し癒されるタクティール®ケア, 小泉由美, 日本認知症ケア学会2022年度北陸・甲信越ブロック大会 教育講演, 2022
- 認知症高齢者の介護家族むけの「なでるケア」のリラクゼーション効果の検証, 小泉由美他, 第39回日本看護科学学会学術集会, 2019
- 認知症高齢者の家族介護者支援プログラムの開発—「なでるケア」の在宅での実践可能性と支援方法の検討—, 小泉由美他, 2017
- 熟練したタクティール®ケア施術者のリラクゼーション効果の検証, 小泉由美他, 第40回日本看護研究学会学術

## 競争的資金等の研究課題

- タクティールケアを基盤にした認知症高齢者の介護家族支援プログラムの評価: 科学研究費補助金 (基盤研究C) 2019-2023
- 認知症家族介護者の介護技術としてタクティールケアを導入した支援プログラムの開発: 科学研究費補助金 (基盤研究C) 2015-2018
- 認知症高齢者に対しタクティールケアを施術する家族自身に及ぼすリラクゼーション効果の検証: 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) 2013-2014

## 社会貢献活動

- 小松市地域ケア推進会議委員
- 国際メディカルフットケア協会会長
- 小松市オーラルフレイル研究会